

File\_03

## 川崎中学校

村上卓也監督・滝澤香花主将・部員 13 人

### あきらめず、粘り強く、いつも「全力プレー」 「全員ソフト」で県準V、東北大会出場

●取材協力 福島県猪苗代町 大坂圭

「平成24年度岩手県中学校総合体育大会ソフトボール競技」は7月21、22の両日、花巻市石鳥谷ふれあい運動公園で開かれた。

一関地区第2代表の川崎は、初戦で金田一(二戸)を3-0と完封し、幸先良いスタートを切った。2回戦は松尾(岩手)と対戦。1回、先攻の松尾に2点を先制されるが、2回、藤村綺良々の三塁打などで4点を挙げ逆転。3回に追いつかれるものの4、5回に打線が爆発、大量11点を奪い突き放した。守っては、エース鈴木里紗子が要所を締める投球で松尾打線をかまし、11-4(5回コールド)で勝ち、準決勝へ進んだ。

東北大会出場を懸けた準決勝は種市(久慈)と激突。1回表に2点を先制されるが、その裏5本の長短打で4点を奪い逆転。4、5回にも長短打で5点を加点。9-2(5回コールド)で勝利し、5年ぶ

り3度目の東北大会出場を決めた。

決勝は一関勢対決。地区予選決勝のリベンジを期し、藤沢に挑んだ。藤沢は4連投の川崎エース鈴木を攻め、序盤から得点を重ね、3回までに11-0と突き放す。川崎は藤沢菅原菜月の前に打線が沈黙。わずか1安打に封じられた。敗れはしたが、女王藤沢に真っ向勝負を挑んだ全力プレーに古豪の意地を見た。

福島県石川町クリスタルパークで8月3日から5日まで開かれた東北大会は初戦で東雲(秋田第2)と対戦。試合は序盤から息詰まる投手戦。鈴木しのめの好投と堅守が光ったが、得点することができず0-2で惜敗した。

2012年夏、旋風を巻き起こしたヒロインたち。大舞台での経験を自信と誇りに、次のステージで頂点を狙う。



DATE

堅守で最小失点に抑え、少ないチャンスを得点する守り勝つソフトボールが信条。エース白澤優海は岩手を代表する本格派。県大会を一人で投げ抜いた。  
【戦績】<県>2回戦〇2-1花巻西南、準決勝〇3-1涌津、決勝●3-6関小ヤンキーズ<全国>1回戦●0-11大和ホワイトガールズ



1\_笑顔でベンチに戻る選手/2\_チャンスに強いシュアな打撃が光る主砲千葉かるな/3\_堅守でエース白澤優海を盛り立てる内外野(大和ホワイトガールズ戦)/4\_結成2年目で県準V、初の全国大会を決めた東山レッドウィングスサイン/5\_県大会を一人で投げ抜いたエース白澤は岩手屈指の好投手

File\_02

## 東山レッドウィングス

鈴木靖監督・神崎乃愛主将・部員 16 人

### 長坂と松川が一つになり堂々の県準V 「合同」は少子化時代のスタンダード

共にメンバー不足だった「長坂レッズ」と「松川レッドウィングス」は10年8月の大会後、人員不足でチーム存続の危機に直面した。鈴木靖監督は「子供たちを大会に出場させてあげたい」と合同チーム結成を提案。「大好きなソフトボールを続けさせたい」という父母らの思いは両チームとも一緒だった。こうして10年9月に「東山レッドウィングス」は誕生した。

「ソフトボールは守りのスポーツ」という鈴木監督。練習の多くを守りに費やした。堅い守りで最少失点に抑え、少ないチャンスを生かして得点するのがチームカラー。関小同様、全勝で最激戦区を突破した。

県大会は、初戦でいきなり強豪花巻西南と激突。エース白澤優海の好投で2-1で競り勝った。準決勝は一関勢の涌津と対戦。試合は東山白澤、涌津千葉滯奈両エースの息詰まる投手戦。1-1のままタイブ

レーカーに。先攻の東山は足を絡めた攻撃で涌津守備陣の乱れを突き、2点を挙げると、その裏白澤が涌津の反撃を無得点に抑え、3-1で豪腕対決を制した。決勝は序盤から白熱した好ゲームとなったが、関小の攻撃を止めることができず3-6で敗れ、優勝はできなかった。

東山勢の全国大会出場は2000年の長坂レッズ以来12年ぶり。結成2年目の合同チームは初戦で大和ホワイトガールズ(神奈川)と対戦したが、善戦及ばず0-11で敗れ、初戦突破はならなかった。しかし、少子化が進み、単独でチームが編成できない中、父母、学校、地域が指導者と一緒になって選手の能力を開花させたレッドウィングスは、少子化時代の教育や少年スポーツのあり方に一石を投じる大きな軌跡を残した。新チームの活躍も目が離せない。



1\_県大会決勝戦を見守る父母ら/2\_地区大会から東北大会まで投げ抜いた絶対的エース鈴木里紗子/3\_県大会決勝、敗れはしたが最後まで真っ向勝負を挑んだ/4\_県準V、東北大会出場を決めた川崎中サイン/5\_東北大会東雲戦。好プレーで出塁を阻止し、歓喜する内野陣。初戦で惜敗したが随所に堅守を發揮した



DATE

上位から下位までどこからでも得点できる攻撃力と、エース鈴木里紗子を中心とした堅い守りが自慢。どんなときも元氣よくプレーする「全員ソフト」が信条。1975年には東北大会で優勝している古豪。  
【戦績】<県>1回戦〇3-0金田一、2回戦〇11-4松尾、準決勝〇9-2種市、決勝●0-11藤沢<東北>1回戦●0-2東雲(秋田県第2代表)